

平成 30 年 11 月 12 日

(臨床研究に関する公開情報)

国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として、さまざまな臨床研究を行っております。今回、下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画及びその方法についてお知りになりたい場合、研究において検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究のために患者さまの負担や危険が増えることはございません。また、ご了解できなかった場合、患者さまにとって不利益になることは一切ございません。

[研究課題名] 洞不全症候群を有するペースメーカー植え込み後の患者様における心房細動アブレーション後の予後の検討

[研究責任者] 循環器内科 副院長 高橋淳

[研究の概要] 心房細動のカテーテル治療で最も有効な方法は肺静脈隔離です。心房細動は症状無しに発症することもあります。ペースメーカーでは頻脈の記録を残せる機能がありますが、治療後に生じる症状の無い心房細動の頻度について検討し、今後の患者様の治療に役立てたいと考えます。

[研究の方法]

● 対象となる患者さま

2003 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までの期間に当院において心房細動のカテーテルアブレーションを行なった患者さま

● 利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、既往歴、心臓超音波検査結果、採血検査結果、カテーテルアブレーション中に得られた心臓電気生理検査所見、治療後の外来にて施行された心電図検査結果などを収集し、解析させていただきます。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 循環器センター

電話 046-822-2710 (代表) FAX 046-822-9139

\*お問い合わせ内容により、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことをご了承ください